



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第41号

発行日 2024年8月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の美会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dousoukai@sadai.jp
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集 会報編集委員会

目次

巻頭言

- 佐賀大学同窓会 会長 山田 直行 … 1～2
- 「ひのくに 便り」～熊本支部総会～ …… 2
- 大学に来てみませんか！
- 佐賀大学「菊楠シュライバー館」 …… 3
- 朝日のあたる家 …… 3
- 令和6年度春期定例役員会 …… 4
- 令和6年度佐賀大学同窓会役員名簿 …… 5
- 同窓会NOW
- 有朋会
- 「幸せは自分の心が決める」 松信 尚子 … 6
- 芸術地域デザイン学部同窓会
- 「黄金町滞在制作記！」 尋木 昭帆 … 6～7
- 楠葉同窓会
- 「気の向くままに」 岡部 遥大 … 7
- 佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会
- 「戻ってまいりました！」 古賀 洋一 … 8

農学部同窓会

- 「最前線を追いかける技術者を目指して」
- 山口 凌成 … 8
- 令和5年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者 … 9
- 受賞者の喜びの声 …… 9～10
- 大塚 雅仁 山下 万希 平川 悠月
- 石崎 美里
- 佐賀大学同窓会フェスを開催します …… 11
- 第13回佐賀大学ホームカミングデーの開催 … 11
- 恩師情報…この一年 …… 12
- 佐賀大学同窓会・佐賀大学の動き …… 12
- 「佐賀県青春寮歌祭」参加のご案内 …… 12
- ホームページの閲覧を …… 12
- 同窓会からの連絡 …… 12
- ご意見メール等募集
- 名前・住所変更等ご連絡のお願い



今、遥かなり十五歳の若者たちを想う

佐賀大学同窓会 会長 山田 直行 (教育・S47年卒)

多くの月日が流れて、今日までの佐賀大学全体の卒業生はおおよそ約7万名になります。そして今年、令和6年4月2日、佐賀大学の入学式が、初めてのSAGAアリーナで開催されました。留学生、大学院生を含む学生1,724名と、周りを囲む2階席の保護者を合わせて3千名を超えるかつてないスケールで催されました。兒玉浩明学長からは「志とそれを実現するための挑戦と努力が未来を切り開く。毎日を大切に過ごしてください」と激励の言葉がありました。その姿がアリーナの天井に設置された4面の大型スクリーンに映し出され、厳粛な中でも迫力満点の感動の式典でした。

申し遅れましたが、私は水田会長の任期満了に伴う役員改選により、今年度より佐賀大学同窓会(全学同窓会)の会長を仰せつかりました山田直行です。もとより浅学非才の身ではありますが、皆様のお力添えを頂きながら精一杯努めさせて頂きたいと思

ます。

さて、前述の素晴らしい入学式の後、新入生の皆さんに同窓会からの挨拶をさせていただく機会がありました(これまではコロナ禍のためになかった)。その中で3点ほどの話をさせていただきました。

一つは、同窓会は現在6学部の同窓会があり、それぞれに彩豊かな歴史と伝統があるということ。中でもその歴史が一番古いのが、佐賀大学の前身「佐賀師範学校」の卒業生が設立した「有朋会」です。その発足は明治21年(1888年)で、今年136年になります。明治21年は「帝国憲法」発布や「君が代」制定の1年前です。ちょうどヨーロッパでは炎の画家と呼ばれるゴッホがああ有名な「ひまわり」を描いた年です。

二つ目は、全学同窓会会則第2条の目的のことで、それは会員相互の親睦融和と佐賀大学や地域の発展への寄与貢献が明記されています。「寄与する」

や「貢献する」という言葉はややもすると上から目線になりがちですが、皆さんのこれからを応援する「応援団」と思ってください。就職対策講座や教員採用試験の面接指導等のお手伝いをさせていただくこともあります。

三つめは「遥かなり十五畷」に纏わる話です。大正から昭和にかけての旧制佐高の学生は、よれよれの帽子に学生服にマント、そして高下駄をはいてパンカラないでたちで十五畷付近を闊歩していました。そこで「十五畷の若者たち」と呼ばれていて当時の市民の憧れであったということ。そして皆さんもお互いをリスペクトして周りの人から憧れられる人にな

なってくださいなどの話をさせていただきました（ここで話を終わると会場の学生の皆さんから拍手が起きました）。

大正12年作の旧制佐高の校歌「若紫にうすがすみ」の4番の歌詞に「踊る心や六百の十五畷の若き群れ」と歌われています。今、スマホ検索で簡単に聴くことができ、そのゆっくりとした歌声は格調が高く品があります。大正12年架橋の大学北側の通りに架かっていた「十五縄手橋」は、平成27年佐賀大学本庄キャンパス内に移譲され、毎日学生たちが行き交っています。そして、今日も大正ロマンの温故知新の風が吹いています。



「遥かなり十五畷」
(はるかなりじゅうごなわて)



十五縄手橋（大正12年架橋）
平成27年9月佐賀大学へ移譲

「ひのくに 便り」 ～熊本支部総会～

令和6年6月1日、熊本市の「メルパルク熊本」において佐賀大学同窓会熊本支部の総会を開催しました。

今回は会員42名と佐賀大学及び同窓会本部から8名の参加を頂きました。

総会に先立ち、本山貴裕さん（H17年理工卒）より「DXの取り組み～CAE解析に関して」というテーマで発表してもらいました。大学時代に学んだCAE解析技術を現在の会社に活かすことで、設計段階で予測を行い物造りの最適化に貢献しているとの事でした。

総会では高口会長（S53年経済卒）が、「半年前の総会同様、たくさんの方に参加を頂き有難うございます。選ばれる佐賀大学を熊本支部からも応援したい。」と挨拶しました。

来賓の挨拶として、児玉学長より保護者の方の参加が増えた事から今年の入学式をSAGAアリーナで行ったことや、配布された統合報告書の紹介をして頂きました。

また、同窓会本部の山田会長からは、学校内の銅像「遥かなり十五畷」に纏わる話を入学式で紹介したら学生から拍手をもらった、今の若い人も昔の蛮カラ精神にどこか憧れているのかも知れないとの話を頂きました。そして、佐賀大学オリジナル清酒「悠々知酔」をグラスに注ぎ、大串副会長（S61年医学卒）の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

学部ごとに演壇に上がり、それぞれの近況を紹介し、全学同窓会の目的である他学部との交流も益々深まりました。

最後は、菱実会の島会長による寮歌「南に遠く」でエールを頂き、学生歌「楠の葉の」を全員で斉唱し、立場副会長（S51年農学卒）の万歳三唱で、さらなる同窓会活動の発展を祈願し、散会しました。

なお、嶋田薫さん（H2農学卒）栽培の天川花園「胡蝶蘭」は、幸運の会員10人が持ち帰りました。

会員の皆様を始め、大学や同窓会本部の関係者の皆様方に、心から感謝を申し上げます。

事務局長 藤本 勝（理工・S51年卒）



大学に来てみませんか！

佐賀大学「菊楠シュライバー館」 (地域学歴史文化センター)

本建物は、佐賀大学の前身である旧制佐賀高等学校の外国人教師公舎として、大正15年3月に本庄キャンパス近くの与賀町に建設されたものを、平成18年8月に本キャンパスに復元したものである。

構造は、木造2階建て、延べ床面積132.5㎡。玄関の自然石、基礎の地覆石、及び木製扉、階段の飾り手摺り、窓ガラスなどを再利用している。

現在は、平成18年4月に「地域学（佐賀学）」の創出を目指して発足した「地域学歴史文化センター」の建物として利用されている。



佐賀大学同窓会 会長 山田直行（教育・S47年卒）

朝日のあたる家

師走に入り、朝の風の冷たさがすっかり冬の訪れを告げている。

先ごろ、佐賀市西精の裏通りにすてきな家が現れた。今年、数度の台風で堀が壊れ、新しく作られたフェンスの中に、西洋風の魅力ある建物が出現したのである。アメリカの画家ワイエスの絵の中にでてくるような風景である。朽ち果てて住む人もいないこの家は、佐賀大学の前身、旧制佐賀高等学校の外国人宿舎だった。大正15年の建設である。

残されたものを歴史的・美術的価値のあるものとして、選び保存していくことは大変だ。すでにあるもの—レディーメード—をアートとして認めさせたり、いくつもの見方を提唱した現代美術の考え方をういれば、これらの活用法も見いだせるかもしれない。作品を完成させるのは鑑賞者である。朝日のあたる家を描きながら、ふとそんなことを思う。佐賀大学同窓会 会長 山田直行（教育・S47年卒）



2004年12月14日
佐賀新聞ふるさとスイッチ

令和6年度 春期定例役員会 新会長と事業報告、予算を決定

今年度の春期定例会は令和6年5月1日(水)に「菱の実会館」にて開催された。審議の結果、令和5年度事業報告、決算報告、令和6年度事業計画案・予算案が承認された。

昨年度まで佐賀大学同窓会会長だった水田和彦氏が退任され、山田直行氏（有朋会）が新会長に就任した。

I. 会則の変更

理工学部同窓会の離脱によりそれに伴う会則の文言の修正を行った。

II. 令和5年度事業報告

1. 会報発行事業

佐賀大学同窓会報「楠の葉」39号、40号発行、39号は会員へ発送し、40号はホームページでの閲覧

2. 事業内容

1) 県外支部会、佐賀県内地区会等活動

熊本支部会、神埼地区会、筑後部会、東海部会、大分部会が開催された。

2) 佐賀大学と佐賀大学同窓会との意見交換会

令和5年度は、大学の都合により対面での意見交換会は実施されず。

書面にて同窓会からの質問に回答してもらった。

3) 佐賀大学校友会への支援

校友会費として2,292,500円の支援
(1人2,500円×917名)

4) 佐賀大学同窓会会長賞

令和5年度は5学部から推薦された個人2名と3団体に授与した。

佐賀大学学位記授与式（令和6年3月22日）の中で全学同窓会会長から授与した。

5) 佐賀県青春寮歌祭

令和5年11月25日(土)に佐賀市交流センター「エスプラッツホール」で開催した。

6) 大学祭への支援

本庄、鍋島キャンパス大学祭、開学祭に支援を行った。

・鍋島キャンパス 学園祭

令和5年5月20日(土)～21日(日)

・本庄キャンパス 大学祭

令和5年10月28日(土)～29日(日)

7) その他

理工学部同窓会の離脱により佐賀大学同窓会の役職員の構成、人数に変更が生じた。

役職を5つから4つに変更した。

庶務・情報管理部、会報発行部、学生支援部、支部強化部

III. 令和5年度決算及び令和6年度予算（概要）

【単位：千円】

科 目	令和5年度決算	令和6年度予算
収入の部		
前年度繰越金	3,940	3,035
人件費清算分	1,137	1,200
収納金	10,307	8,400
雑収入	230	150
合計	15,614	12,785
支出の部		
運営費	7,349	7,193
業務・活動費	5,230	3,950
予備費	0	1,642
合計	12,579	12,785

収入15,614 - 支出12,579 = 残高3,035 (次年度へ繰越)



令和6(2024)年度佐賀大学同窓会役職員名簿



※芸術地域デザイン学部同窓会からの役員は副会長のみとする。

R6.5現在

役職	担当	氏名	学部卒年学科	役職	担当	氏名	学部卒年学科
会長	佐賀大学同窓会	山田 直行	教育・S47美	理事	学生支援部	緒方 俊昭	教育・S52美
副会長	有朋会	山口久美子	教育・S41小	〃	〃	大塚 浩司	経済・S59経
〃	芸術地域デザイン学部同窓会	石丸 圭汰	芸地・R2芸	〃	〃	矢ヶ部伸也	医学・H9医
〃	楠葉同窓会	江口 達也	経済・S60経	〃	〃	川路 勝	農学・H3農土
〃	佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会	江口有一郎	医学・H6医	〃	支部強化部	堤 公一	教育・H6小
〃	農学部同窓会	鐘ヶ江直雅	農学・S56農化	〃	〃	小淵 則子	経済・S62経
理事長	庶務・情報管理部長	松尾 和俊	経済・S62経	〃	〃	松下 英友	医学・H14医
副理事長	会報発行部長	荒木 清史	農学・S54農化	〃	〃	吉賀 豊司	農学・H2園芸
〃	学生支援部長	坂田 智弘	経済・S62経	監事		池田 典穂	教育・S60中
〃	支部強化部長	椋島陽一郎	教育・S56中	〃		黒木 泰彦	経済・H11経
理事	庶務・情報管理部	黒木 正孝	教育・S53小	〃		柴山 薫	医学・H21看
〃	〃	中川 哲也	経済・S51経	〃		野中 一弥	農学・H元農化
〃	〃	八谷 浩司	経済・S61管	理事	事務局長	宮崎 祐治	教育・S54小
〃	〃	川久保 愛	医学・H19看	顧問		久間 善郎	文理・S37法
〃	〃	江口 一臣	農学・H2畜	〃		宮島 豊秀	教育・S35小
〃	〃	田中 宗浩	農学・H4生	〃		金丸 安隆	農学・S43農学
〃	会報発行部	徳安 和博	教育・H2美	〃		川副 操	農学・S44農土
〃	〃	中島誠一郎	経済・H12経	〃		水田 和彦	農学・S51農土
〃	〃	磯田 広史	医学・H19医		事務職員	姉川 悦子・宮司佐和美	
〃	〃	福田 伸二	農学・H7応生				

佐賀大学同窓会事務局職員の紹介

《佐賀大学同窓会及び各学部同窓会の事務職員（主な担当同窓会）》

- ・宮崎 祐治 佐賀大学同窓会事務局長
- ・姉川 悦子 佐賀大学同窓会 楠葉同窓会（文理学部・経済学部）
佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会 農学部同窓会
- ・宮司佐和美 佐賀大学同窓会 楠葉同窓会（文理学部・経済学部）
佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会 農学部同窓会
- ・高松 京子 有朋会（教育学部・文化教育学部） 芸術地域デザイン学部同窓会

同窓会事務局職員一同、佐賀大学同窓会と各学部同窓会の円滑な推進のために頑張っています。
同窓会会員の皆様、佐賀大学と同窓会の発展のために今後ともご支援ご協力をお願いします。



同窓会NOW

有朋会

「幸せは自分の心が決める」

佐賀大学教育学部 松信 尚子 (教育・H9年卒)(学校教育学研究科・H31年卒)

縁あって、本学で3回目の大学生活を送っています。教育学部、現職教員で学校教育学研究科へ、そして現在教育学部で仕事をしています。

私は、平成10年に佐賀県の教員になりました。当時は教員志望者に対し採用数が少なかったこともあり、講師として働きながら教員採用試験を受ける人、採用数が多い自治体を受験する人、違う職に就く人等、進路はいろいろでした。数年かかって教員採用試験に合格するというケースが多かった時代です。私も同様でした。合格通知が自宅に届いたことを妹が職場に連絡してくれて人目も憚らず涙を流したことが、職場のみなさんから拍手をいただいたこと、親戚中から賞賛され、お祝いしてもらい、誇らしく思ったことをよく覚えています。みんな、学校の先生になりたいくてたまらなかったのです。

教育学部を卒業して20年余り。教員採用試験に合格したら、お祝いされるも心配される時代になって

しまいました。ネガティブな印象がつきがちです。教員採用試験を受ける学生のサポートをしていますが、学校の先生になりたい思いが廃れているのかというと、違います。教員になりたい思いや動機は、昔も今も変わらないのではないかと思います。

確かに、学校現場は多忙な時期もあるし、様々な対応を迫られることも多くあります。しかし、それ以上の喜びや心震わせる出来事があり、そこに携わることができるのは、やはり幸せだと思うのです。

どの仕事も楽しいことばかりではありません。苦労の方がきっと多いでしょう。それなら、自分の人生の価値を見出せる仕事がいい。何に価値を見出すか、幸せをどのようにとらえるかは、他の誰でもない、自分の心が決めるものだと思っています。教員になることへの世の中の見方が変化しても教員を志す彼らを、精一杯応援したいと思っています。



同窓会NOW

芸術地域デザイン学部同窓会

「黄金町滞在制作記！」

地域デザイン研究科 R6修了 尋木 昭帆 (芸地デ・R4年卒)

私は佐賀大学地域デザイン研究科を今年の3月に修了し、現在はアーティストとして活動しています。学部と研究科を通して計6年間ここ佐賀大学で芸術の勉強をしてきました。仲間たちと展覧会を企画、開催したりなどと作品の制作、発表も行ってきました。これまでは佐賀県内にて活動を行っていたのですが、横浜市の黄金町という場所で開催される「黄金町バザール」という展覧会に呼んでいただき、参加してきました。私にとっては初の佐賀県を出ての展示でした。ここではそのときの経験について少しお話ししたいと思います。

この「黄金町バザール」というのは黄金町という町にあるエリアマネジメントセンターという団体によって毎年開催されている展覧会です。今年は、

「黄金町バザール2024世界のすべてがアートでできているわけではない」というタイトルの元、第1章から8章までの章が立てられ、約40組の国内外のアーティストが参加し、作品を展示しました。昨年の12月頃、九州地方の作家を探していた本展覧会のキュレーターに、これまでの作品を載せたポートフォリオを提出し、参加が決定しました。佐賀でのこれまでの制作が外へとつながったことが嬉しかったです。そうして今年の2月から3月にかけて約1ヶ月間黄金町に滞在して制作を行いました。私はたくさん歩いて町の雰囲気を感じることを重視して滞在していました。

これまで私は、佐賀の町の中で何かしらのアク



ション（田んぼの中にニコリマークのオブジェを置いて田んぼを笑わせる、など）を行い、映像でその様子を記録し、作品にしていたのですが、今回は初めて訪れた町での制作。黄金町はかなりの都会で、これまで制作を行ってきた環境とは似ても似つかず、最初の頃は、ここで自分が何をすればいいのかとかなり迷いました。しかし、この佐賀とは似ていない黄金町という町を見つめることで、これまで無自覚だった自分にとっての佐賀の町の捉え方も自ずと見えてきて、とても重要な発見がありました。

佐賀の土地としてのおもしろさ、またアートを行う場としてのおもしろさに遠い場所から振り返ることではじめてしっかり気付くことができたように思います。そんなこんなで作品も完成し、黄金町バザールも無事開催され、6月には約3ヶ月間の会期を終えました。沢山のひととの出会いもあり、参加してよかったと心から思っています。今回得られた気付き、経験を大事にしてこれからもここ佐賀で制作をつづけていきたいと感じています！

同窓会NOW

楠葉同窓会

「気の向くままに」

佐賀大学医学部医事課 岡部 遥大（経済・R2年卒）



2016年に理工学部都市工学科に入学した私は翌年2017年に経済学部経済法学科に転学部しました。高校3年生の頃から法律を勉強したいと考え始め、入学が決まった直後に学生生活課へ転学部の手続きについて質問した際には奇怪なものを見るような表情をされたことをよく憶えています。

転学部自体そこそ稀有な例であったようで、今でも誰かに話すたび驚かれます。我儘を許してくれた親には感謝しています。

法律の勉強はとても充実していました。憲法、民法、刑法……社会の仕組みの一端を知ることで妙な全能感に浸っていました。今日に至るまで法律に関する業務に携わったことはないですが、プライベート含め、法律をベースとした思考力を身に付けることができ、非常に有益な学びでした。

大学生生活4年間を思い返しても転学部、サークル活動、アルバイト等々、特別これを努力したと胸を張れるものはないですが、気の向くまま自由に過ご

しました。佐賀大学ののびのびとした自由な校風が私に合っていたように思います。

ご縁をいただき卒業後、佐賀大学に国立大学職員として配属が決まり、現在は情報インフラ関連の整備や管理運営を行う業務に携わっております。当初は専門用語がまるで分らず多分に苦勞しましたが、情報技術特有の面白さに惹かれ、資格取得まで達成することができました。

学生時代を振り返ってもまさか情報系の仕事をすることになるとは露ほども思いませんでした。学生時代を通して理系と文系を反復横跳びしている気分です。LANケーブルを触りながら、人生何があるか分からないものだとしみじみ感じています。

微力ながらこれからも佐賀大学に貢献できるよう尽力していきたいです。お読みいただきありがとうございます。

同窓会NOW

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

「戻ってまいりました！」

伊万里有田共立病院 外科 古賀 洋一（医学・H24年卒）

平成24年に佐賀大学医学部医学科を卒業しました。学生時代は正直外科に進むということはあまり考えていませんでした。しかし研修医時代に出会った先生方に感化され、外科へ進むということに決めました。研修を経たあと、出身地の長崎大学外科に入局しました。その後、関連病院を巡り、数々の手術を行いながら貴重な経験を積ませていただきました。

そして令和6年4月、縁あって伊万里有田共立病院の外科で勤務することになり、佐賀県へ戻ってまいりました。現在は外科ひとり体制であり、院内の他科および周辺の先生方のご協力をいただきながら、診療・手術を行っている状況です。自分もまだまだ

未熟であり、少しずつでも成長していきたいと思って日々過ごしております。

佐賀県へ戻ってきて、他の病院とやり取りをするようになると、同級生の名前はもちろん、学生時代にお世話になった先生方の名前をお見かけする機会がぐっと増えました。皆さん頑張っておられるなあと、自分も頼りにしてもらえるように頑張らないといけないという気持ちになりました。

またこの佐賀県でお世話になることをとても嬉しく思っています。同窓生の皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。



同窓会NOW

農学部同窓会

「最前線を追いかける技術者を目指して」

あおみ建設株式会社 山口 凌成（農学・R5年卒）

私は令和4年度に農学部を卒業しました。学生時代は、探検部の部長として活動を催し、日本アルプスの縦走や九重登山、ケイビングや沢登りなどの活動を行っていました。今も後輩や部のSNSを見ると楽しそうに活動しており、知識や技術が継承されていることをうれしく思います。

卒業後はあおみ建設株式会社に入社し、若手職員として仕事に奔走しています。最近は日々のやるべきことプラスで資格試験の勉強もありあわただしく過ごしています。私の会社は海洋土木のゼネコンとしてケーソン製作や岸壁整備、海際の地盤改良など海の仕事が多く、海に関する技術革新が多くあります。水中で動くユンボやケーソンの自動注水システム、ICTを用いた地盤改良などがあり、自然を相手

にするため様々な工夫が込められています。この技術革新の波の中で揉まれることにはなりますが、これからも1土木技術者として経験を糧にしながら土木技術の最前線で戦っていきたく思います。



令和5年度佐賀大学同窓会長賞表彰受賞者

受賞者の喜びの声

同窓会長賞を受賞して

教育学部 大塚 雅仁

この度は佐賀大学同窓会会長賞に選んでいただき厚く御礼申し上げます。さが・わーるどりんぐはボランティアサークルとして外国にルーツを持つ子どもたちを支援し、今年で活動歴が11年目になります。ここまで続けることができたのも先生方、保護者の方、様々な方からの協力を得られたことと、この活動に携わってきた学生たちの尽力あつてのことだと思えます。これまで関わってきた方々や学生の活動が高く評価されたことを本当に嬉しく思います。



あっという間の4年間を過ごして

経済学部 山下 万希

佐賀大学同窓会長賞を受賞できたことを心より嬉しく思います。この賞は支えてくれた方々のおかげです。恩師と出会い高校演劇での全国出場をきっかけに、大学でも学外の団体「ギムレットには早すぎる」に所属し演劇を続け全国学生演劇祭の2連覇を果たしました。単身中国に渡り行った公演では、現地の文化や人々に支えられながら舞台を行うことができました。また、在学中に縁あって佐賀で撮られた映画「つ。」に出演させて頂きました。振り返ってみて、貴重な出会いや経験が私を形作り、沢山の方々の支えに感謝の気持ちでいっぱいです。現在はNHK佐賀放送局の「SAGA SOUL-さが魂-」のナレーターをつとめております。4年過ごした佐賀の地からは沢山の機会を頂きました。これからも、これまでの経験を活かし、新たな挑戦に向かって進んでいきたいと思えます。ありがとうございました。



同窓会長賞を受賞して

佐賀大学医学部 平川 悠月

この度は、佐賀大学同窓会長賞という大変名誉ある賞をいただきましたことを、佐賀大学学生ボランティア部「ほびろほびろ」を代表いたしまして感謝申し上げます。

「ほびろほびろ」とは佐賀弁で羽を伸ばしている様子で、学生にのびのびと活動して欲しいとの願いを込めて名付けられています。私たちは、医療的ケア児の家族会、地域の子どもたちの居場所作り、スキンケア研修ボランティア、地域のイベントスタッフ、災害ボランティアなど、様々なボランティア活動に参加してきました。

地域の人々との繋がりや子どもたちとの関わりなど、活動の中で得た経験を活かし、これからもより一層精進してまいります。

この度は誠にありがとうございました。



同窓会長賞を受賞して

農学部 石崎 美里

この度は、佐賀大学同窓会長賞という名誉ある賞をいただきましたことを、農学部特別プログラムを代表して感謝申し上げます。

特別プログラムでは、農業生産者や食品産業の方々との交流の機会をいただきながらインターンシップを経験し、暮らしにとって大事な食と農業の実際について学びました。実習では学生主体で協力し、お世話になった方々の農作物を使った商品を販売するマルシェを開催しました。活動を通じて佐賀県の食や農業の魅力と生産者のこだわりを伝えられたことを嬉しく思います。

私たちはこれからも、学んだことを活かし、さらなる農業の活性化や魅力の発信に貢献できるよう精進してまいります。

この度は誠にありがとうございました。



佐賀大学同窓会フェスを開催します

同窓生のみなさん、こんにちは。
 これまで同窓会では会員相互の親睦と交流を図るため、定期的に交流会などを開催してきました。ところが、ライフスタイルが変化し多忙さが増した近年では、伝手を頼って人を誘う義理と付き合いのやり方では参加者は減少する一方でした。また、コロナ以降、人を集めるイベントは同窓会に限らず苦戦しています。それだけ人々の



の選択肢が増え同窓会の優先順位が下がったからだと思います。それでも、音楽やスポーツイベントなど魅力さえあれば、たとえ高額でも不便な場所でも人は集まっています。

であるならば、同窓会でも魅力的なコンテンツを揃え、しっかり告知を行えば人は集まるのではないかと考えました。それが同窓会フェスを開催する理由です。また、会員相互の親睦と交流だけでなく、フェスへの参加学生団体には出演料を払ったり、現役学生にはもれなく食事券を配るなど、学生の経済支援と活動支援の役割も付加しました。また、佐賀大学の現役、卒業生の活動を地域住民の方にも知ってもらうために農作物を安価で販売したり、人気の飲食店に出店してもらうなど同窓生以外でも楽しめる工夫をしました。

第1回を令和5年10月8日(日)に佐賀駅前交流広場で開催しました。卒業生が働く企業のブースやキッチンカーが並び、現役学生のステージ演奏などを行いました。当日はあいにくの雨模様だったにも関わらず延べ300名の参加があり、卒業生と現役学生が言葉を交わすなど親睦と交流を実行することができました。

今年は11月9日(土)に佐賀駅前交流広場において第2回目を開催します。目玉(予定)は落語研究会O Bのミニ寄席、自転車で世界を旅した西野旅峰さんの講演会、焼物販売、おなじみ農作物販売などさらに充実した内容になっています。ぜひお問い合わせの上ご来場いただきますようご案内いたします。

それでは、会場でお会いしましょう！

佐賀大学同窓会フェス実行委員長 江口 達也(経済・S60年卒)

第13回佐賀大学ホームカミングデーの開催

【期日】 令和6年10月26日(土) 【場所】 佐賀大学本庄キャンパス

【目的】 佐賀大学の卒業生に母校佐賀大学を訪問していただき、母校の現状を知り、恩師・学友との再会と交流を深め、今後の母校へのご理解とご支援をいただければ幸いです。

【対象】 卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内容】 大学の近況報告、講演、在校生によるアトラクションなど

※詳細は決定次第、佐賀大学校友会のホームページでお知らせします。

(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/hp/event.html>)

【お問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

TEL : 0952-28-8390

E-mail : koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp

第12回佐賀大学ホームカミングデー(令和5年10月28日(土)開催)の様子は、こちらからご覧ください。(URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/hp/hcd/12/>)



恩 師 情 報 ……この一年

定年退職 (令和6年3月31日)

松山 郁夫 教授 教育学部	松尾 陽好 准教授 経済学部	辻村 健 教授 理工学部
入江 裕之 教授 医学部	安西 慶三 教授 医学部	出原 賢治 教授 医学部
田中恵太郎 教授 医学部	馬渡 正明 教授 医学部	

訃 報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

福本 敏雄 佐賀大学名誉教授 文化教育学部	令和5年4月7日
江崎 利明 佐賀大学名誉教授 全学教育機構・文化教育学部	令和5年7月28日
富永 みさお 佐賀大学名誉教授 文化教育学部	令和5年8月6日
西田 民雄 佐賀大学名誉教授 文化教育学部	令和5年8月17日
辻 健児 佐賀大学名誉教授 文化教育学部	令和5年8月26日
吉永 春馬 佐賀大学名誉教授 医科大学・副学長	令和5年8月28日
頼原 嗣尚 佐賀大学名誉教授 医学部	令和5年12月13日
末崎 幸生 佐賀大学名誉教授 医学部	死去日不明
磯谷 誠一 佐賀大学名誉教授 文化教育学部	死去日不明

佐賀大学同窓会・佐賀大学の動き (令和6.1~令和6.12)

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1.1 佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第40号発行
(会報の郵送は年1回のみ。1月発行の第40号会報誌は同窓会ホームページで公開) 2.8 佐賀大学同窓会第4回代表役員会 菱の実会館 3.22 佐賀大学学位記授与式 佐賀市文化会館 4.2 佐賀大学入学式 SAGAアリーナ 4.23 佐賀大学同窓会第1回代表役員会 菱の実会館 5.1 佐賀大学同窓会春期定期役員会 5.30 佐賀大学同窓会楠の葉第41号編集委員会 6.11 佐賀大学同窓会第2回代表役員会 菱の実会館 | <ul style="list-style-type: none"> 8.1 佐賀大学同窓会会報誌楠の葉第41号発行
(会報誌は会員へ郵送) <p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> 10.8 佐賀大学同窓会第3回代表役員会 菱の実会館 10.15 佐賀大学同窓会秋期定期役員会 菱の実会館 11.16 佐賀県青春寮歌祭 佐賀市エスプラッツホール 10.26 佐賀大学ホームカミングデー (佐賀大学本庄キャンパス) 12.10 佐賀大学同窓会第4回代表役員会 菱の実会館 |
|--|--|

「佐賀県青春寮歌祭」参加のご案内

今年度の「佐賀県青春寮歌祭」は、下記の日時で開催予定です。

- ・日時 令和6年11月16日(土) 13時30分~17時30分 (入場無料)
 - ・会場 佐賀市交流センター「エスプラッツホール」佐賀市白山2-7-1 エスプラッツ3階
- 佐賀大学も出場します。奮ってご参加ください。

ホームページの閲覧を

佐賀大学同窓会ホームページを開きますと、トップページには次のような言葉が目に入ります。

「たて糸と よこ糸で 織りなす佐大の人間模様」

たて糸は、「先輩、後輩の繋がり」 よこ糸は「同期生の集まり」

中を開いていただきますと「佐賀大学同窓会」と「有朋会」「芸術デザイン学部同窓会」「楠葉同窓会」「佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会」「農学部同窓会」5つの学部同窓会の様々な活動の様子が記されています。是非、ご覧になってください。

(ホームページ) <http://sadai.jp/alumni/>

ご意見メール等募集

同窓会や会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受け付けております。

名前・住所変更等 ご連絡のお願い

住所変更、お問い合わせ等がありましたら、佐賀大学同窓会ホームページ「住所変更・お問い合わせはこちら」からお知らせください。

Tel : 0952-23-1253 Fax : 0952-25-5700 E-mail : dousoukai@sadai.jp

